

公道を使用したマラソン大会開催に向けた取り組みについて

1 経緯

本区におけるマラソン大会の取組は、健康増進と体力づくりを目指したコミュニティスポーツの促進を図るため「めぐろ桜健康マラソン」と題して、駒沢オリンピック公園陸上競技場及びジョギングコース等を活用し、これまで31回実施している。

一方、近年のジョギングブームから、東京マラソンを代表とする都市型市民マラソンが各区でも実施されており、本区においても「公道を使用したマラソン大会」(以下、「公道マラソン」という。)実施の要望が高まっているとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会開催に向けた気運の醸成や目黒のまちの魅力を発信していく必要がある。

こうした中、平成26年度から公道マラソンの実施に向けた検討を開始し、交通管理者をはじめ、関係各所と協議を進めてきた。

2 事業概要

(1) 目的

現在実施している「めぐろ桜健康マラソン」の発展・充実により、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会開催に向けた気運醸成やスポーツ活動への参加意欲を喚起し、スポーツの振興による健康増進を図るとともに、まちの魅力を発信することで、区内の観光と産業の活性化など地域の活力向上を図る。

(2) 大会概要

大会名称：めぐろ10kmマラソン(仮称)

正式名称については、今後、区民公募を実施し、決定する。

距離：10km

コース案：目黒区総合庁舎前をスタートし、駒沢通り、自由通り、目黒通り、山手通りを通過し、目黒区総合庁舎前をフィニッシュ地点とする(別添資料1参照)。

参加者数：3,000人

・在住区民枠(区民優先枠含む)

・一般枠

・寄付枠

1000
2000
1000

振替案

参加費：5,000円(在住区民：4,000円)

実施時期：平成28年11月の日曜日の午前中または祝日の午前中

その他：障害者や子どもも参加できるミニマラソンなどのサブイベント(車椅子マラソン ⇒ 3km 概、親子ペアマラソンなど、参加者数850人程度、参加費1,000円～)を実施する。

(3) 事業費(概算)

歳入：18,050千円

歳出：47,946千円

差引：△29,896千円(協賛金及び一般財源)

3 今後の進め方

目黒区としてのコース案を決定し、引き続き詳細検討及び調整を行うとともに、大会を実施するに当たって、関係団体との協力体制を構築するため、大会実行委員会を設立する。

4 主な検討課題 (詳細は別紙)

- (1) 安全対策
- (2) 大会グッズ制作、サブイベントなどの企画演出
- (3) ボランティアの確保及び活用方法

5 当面のスケジュール

平成27年 7月 大会実行委員会設立総会開催
以 上

ikuma
HP

時間制限あり ○の所にバス

コース(案) 全長 10.2km : 【目黒区役所→駒沢通り→自由通り→目黒通り→山手通り→目黒区役所】

目黒区マラソン【仮称】

← コース

全面走行区間

片側 1.5 車線区間

片側 1 車線区間

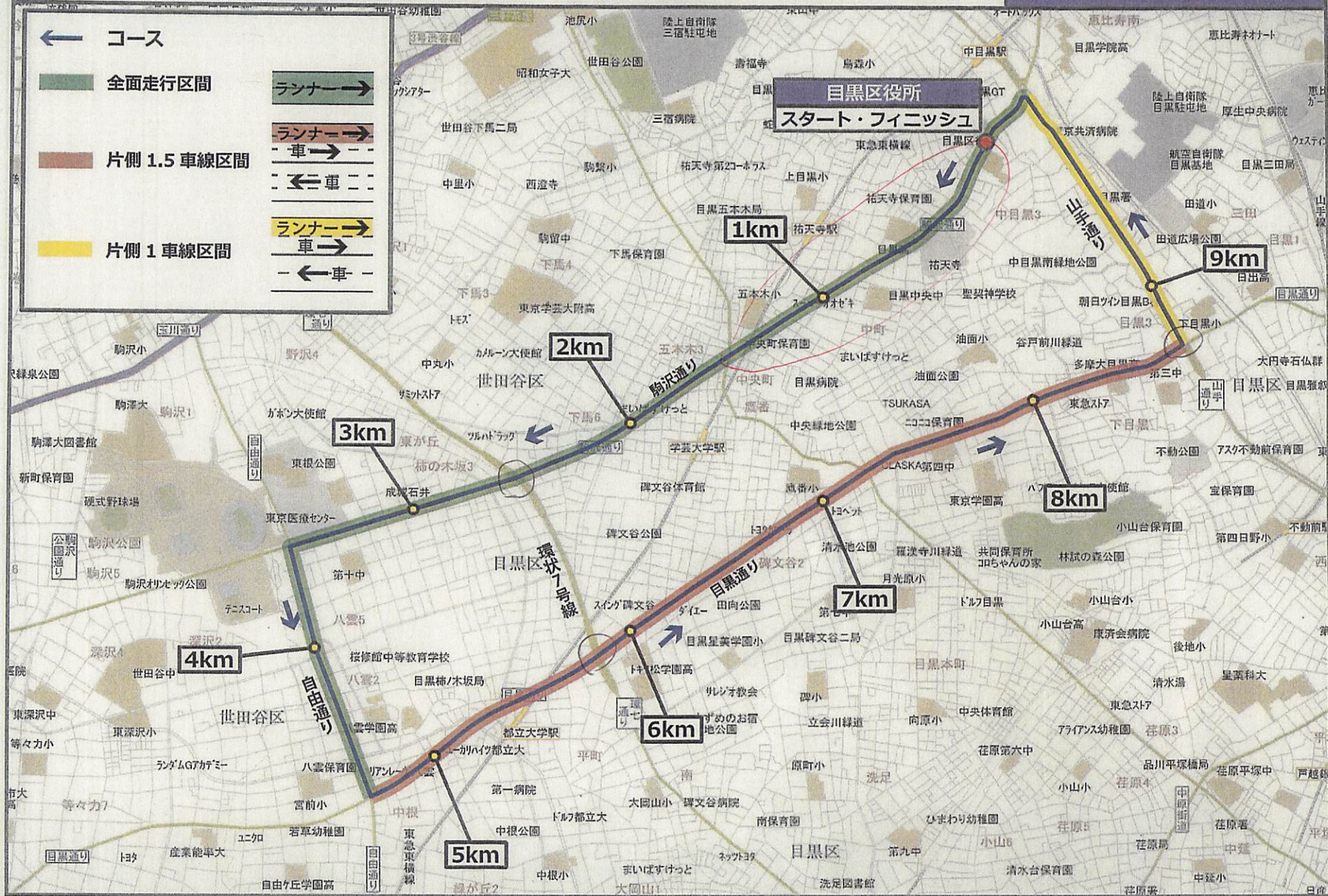
ランナー →

ランナー → 車 →

← 車 →

ランナー → 車 →

← 車 →



別添資料 1